

# 自治会アンケート調査結果 報 告

流山市コミュニティ課

令和7年2月

# 調査の実施概要

## 1 目的

市の地域コミュニティの中心的な役割を担う自治会から、自治会加入者の高齢化問題をはじめ、組織や運営などの様々な課題についてご相談を伺う機会が増加しています。

今回のアンケートにつきましては、より自治会の現状に即した活動支援を展開するために、自治会活動の実態や課題等を把握するとともに、市内自治会活動の情報共有の1つとしてこのアンケートを活用していただきたいと思い、実施いたしました。

御協力いただいた自治会長の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。

## 2 実施方法

郵送及び電子回答によるアンケート調査を実施。

## 3 期間

令和6年9月13日～令和6年10月末

## 4 対象

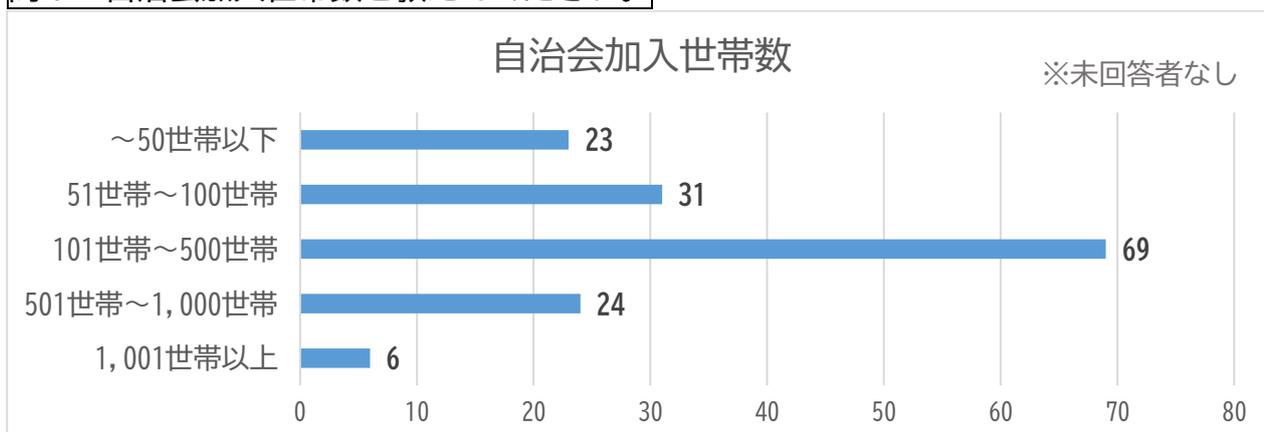
流山市内のすべての自治会（令和6年9月時点184自治会）

## 5 回収結果

送付数	184通
回答数	153通
回答率	83%

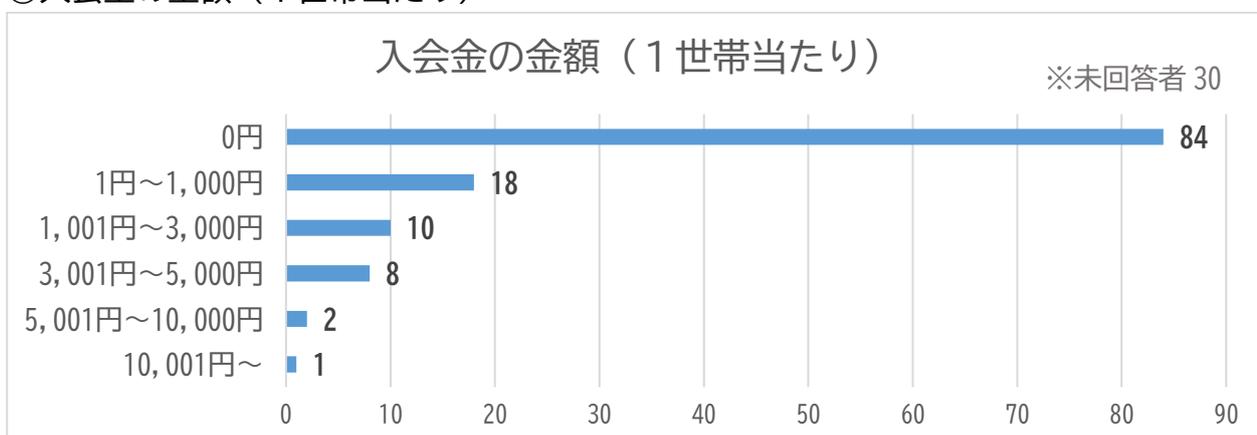
# 1 自治会に関する情報

## 問1 自治会加入世帯数を教えてください。



## 問2 自治会員会費の金額を教えてください。

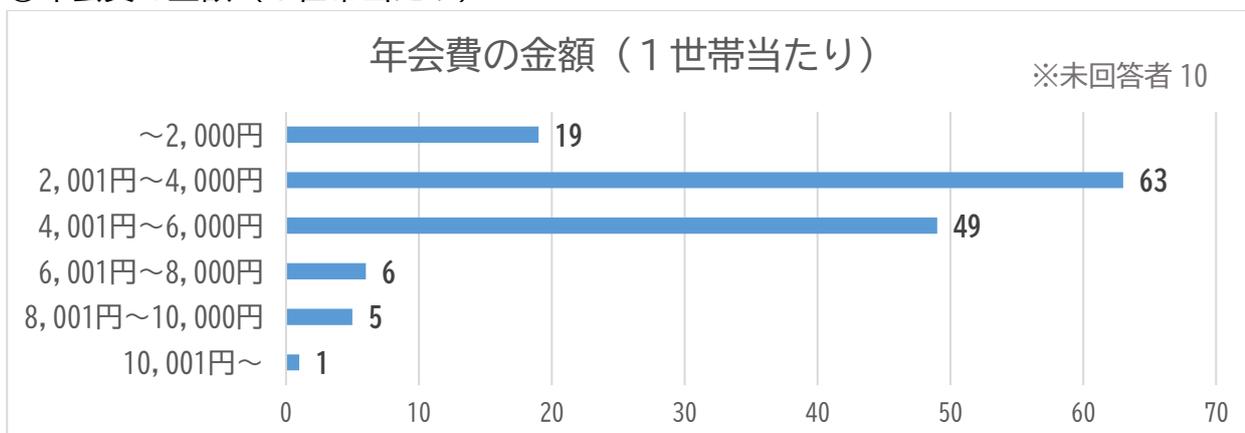
### ①入会金の金額（1世帯当たり）



全体の平均値 944 円

入会金を設けている自治会の平均値 2,977 円

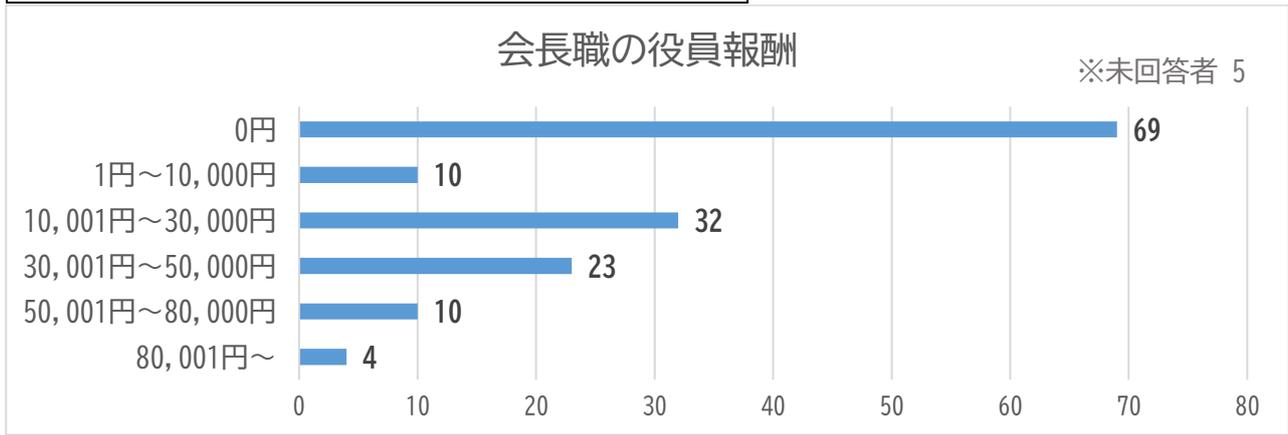
### ②年会費の金額（1世帯当たり）



全体の平均値 4,219 円

年会費を設けている自治会の平均値 4,404 円

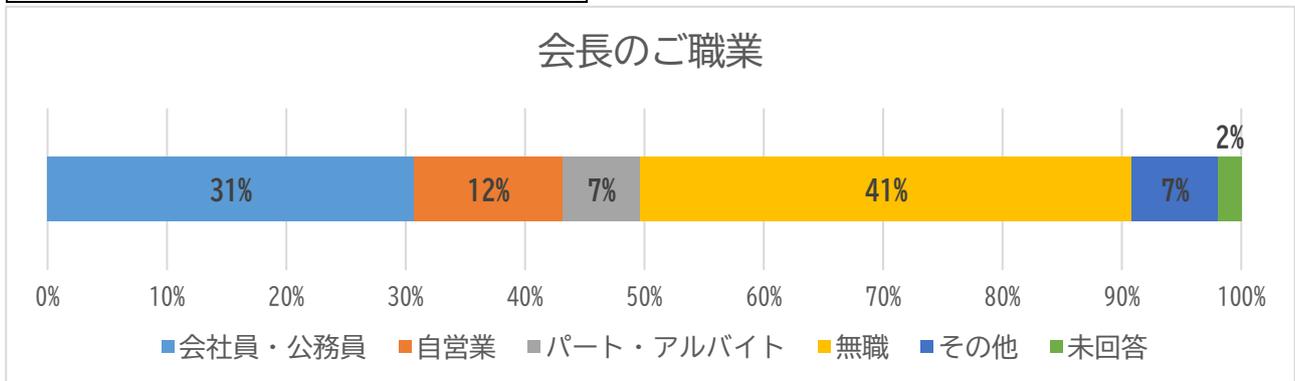
**問3 会長職の役員報酬の金額を教えてください。**



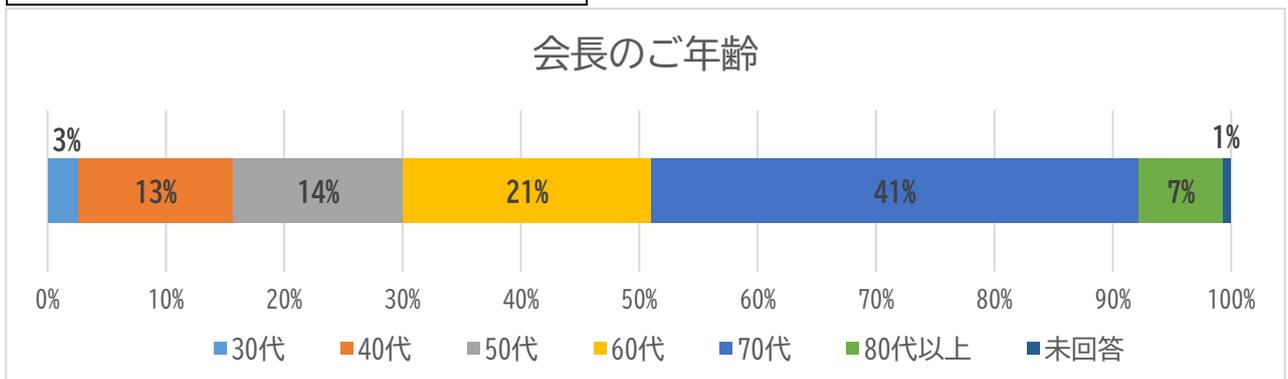
全体平均値 19,464 円

会長職の役員報酬を設けている自治会の平均値 36,463 円

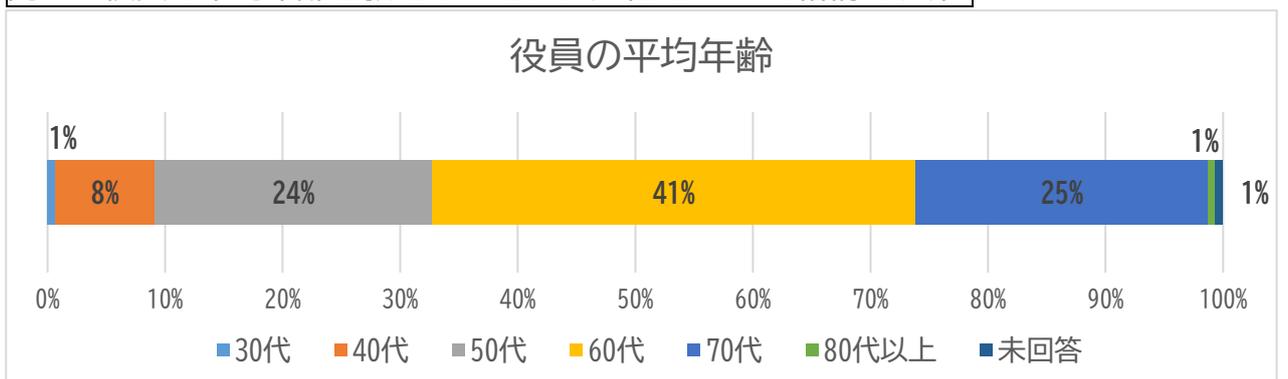
**問4 会長のご職業を教えてください。**



**問5 会長のご年齢を教えてください。**



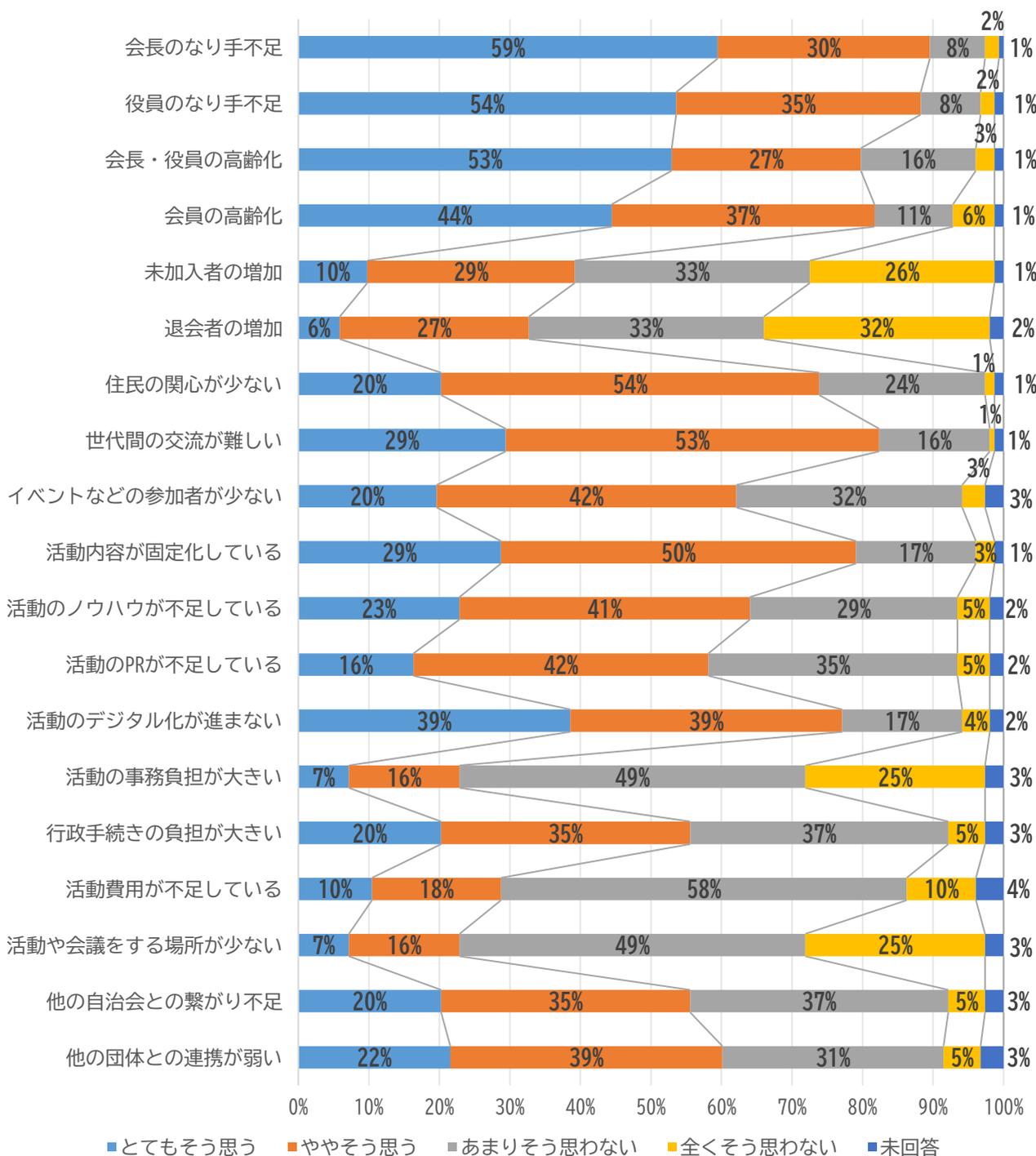
**問6 役員の平均年齢を教えてください。(おおよそで結構です。)**



## 2 自治会活動への課題と解決

### 問7 自治会の活動を行っていく上で、課題となっていることは何ですか。

自治会活動への課題



#### (その他の主な回答)

- ・自治会館の老朽化問題があり、建替え計画が資材や人件費高騰の影響で進まない。
- ・自治会連合会がイベント中心であり、各自治会の問題への話し合いが不足している。
- ・ゴミ問題、土地の草刈り、花壇の管理などの環境整備。
- ・高齢者への見守り、独居老人への見守り。
- ・マンション住民の出入りが激しく、退会届を出さない住戸がある。
- ・管理組合との活動の重複。

問8 問7で「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した項目のうち、特にお悩みである項目について、どのような原因があると考えていますか。

(主な回答)

### ○会長・役員負担が大きい

- ・事務負担や責任が集中し、特に会長職が敬遠される。
- ・会長が1人で多くの業務を抱えてしまう。
- ・現役員の負担軽減を行っているが、過去の議事録整理や備品管理まで手が回らない。
- ・仕事や育児で忙しく、会長・役員を引き受けたがらない。
- ・現役世帯には自治会業務をこなす余裕がない。
- ・退職年齢の引き上げにより、60～70代の世代が会長・役員になりにくい。
- ・自治会費の徴収・管理の手間が増大している。

### ○会長・役員選出の問題

- ・輪番制を採用しているが、辞退者が多く順番が早まる。
- ・80歳以上は役員から除外されるため、候補者が年々減少。
- ・一度役員になると辞めづらくなり、複数回担当せざるを得ない。
- ・候補者を探しても多くが「面倒だから」と断られる。
- ・毎年役員が交代するため、「その年を乗り切れればいい」という意識になりがちで、新しいことに取り組めない。
- ・高齢者が多く、役を務めることが難しいケースが増えている。
- ・役員を務める高齢者は意欲があるが、実際の活動が困難な場面が多い。

### ○住民の関心・協力の低下

- ・若い世代は自治会の必要性を感じていない。
- ・マンション居住者は自治会と管理組合を混同し、参加意識が低い。
- ・人付き合いを煩わしく感じ、自治会活動を避ける傾向がある。
- ・少子化・高齢化で自治会活動が維持できない。

### ○デジタル化が進まない

- ・配布物が紙ベースであり、デジタル化（LINE やポータルアプリ導入）が進んでいない。
- ・過去の書類が大量に蓄積されており、デジタル化して整理・保存したいが、ノウハウや労力が不足している。
- ・会員の高齢化や役員負担増により、デジタルツールの活用が進まず、移行が難しい。

### ○行政の支援不足

- ・市からの支援が少なく、説明会や書類送付のみ。
- ・市からの要請事項が多く、役員負担を増している。
- ・自治会活動の行政手続きがデジタル化されていないため、事務負担が大きい。

### ○自治会の運営環境の問題

- ・自治会館がなく、集まる場所の確保が困難。
- ・会議が個人宅で行われることが負担になっている。

問9 課題の解決に向けて新しく始めた取り組みや力を入れている活動があれば教えてください。

### ○役員制度の見直しと負担軽減

- ・ 役員の負担を軽減するため、無駄な事業や歳出の削減を検討。
- ・ 高齢者世帯を役員のなり手から外し、比較的若い世帯で輪番制を採用。一旦、この体制で運営し、一巡した時点で無駄な事業や歳出をカットするなどの改革を実施し、役員の負担を軽減する方法を考える。
- ・ 役員の輪番制を徹底し、引き受けない場合は代替りの人を見つけることを必須とする。
- ・ 役員会議を月に1度開催し、活動の内容や反省点を共有。
- ・ 班長会議を3ヶ月に1度開催し、班長としての理解を求める。
- ・ 会長の仕事を分散し、事務局を設置するも、後任の人材確保が課題。
- ・ 会長・役員が数年交代になる仕組みを提案中。
- ・ 役員の担当業務の一部を会員ボランティアに分散する取り組みを始めようとしている。
- ・ 専任役員という役職を設け、個別案件（イベント、支え合いなど）の対応をしてもらい、その中で要職をお願いできる方をお願いしている。
- ・ 規定の見直しを進め、役員負担の軽減を図る。

### ○デジタル化の推進

- ・ 自治会のホームページ（HP）を活用した回覧板の閲覧。
- ・ ホームページの活用により情報共有と業務負担の軽減を図る計画の実現に向けて、意図の説明と協力体制づくりを含め、2か年計画で改編を企画している。
- ・ HP 担当者の交代に伴い、サイトの見やすさ向上と活用促進を検討。
- ・ 役員間の LINE グループを活用し、意思疎通を簡易化。会議時間等、拘束時間の削減。
- ・ 役員間の連絡手段として Slack を導入。会議に参加できなくても情報共有を可能とした。
- ・ メールや LINE を活用し、役員会の進行を効率化。
- ・ 自治会の DX を推進し、Wi-Fi 導入やオンライン会議を実施。
- ・ 回覧板の IT 化を試行中。
- ・ 地域アプリ「いちのいち」を導入し、回覧板のデジタル化を行った。
- ・ 自治会費等の徴収をコンビニ収納とした。
- ・ ドコモに協力をお願いし、スマホ教室を開催（毎月1回）。

### ○イベントの開催と改善

- ・ 納涼祭を「オータムフェスタ」に変更した。
- ・ 夏祭り・秋祭りを企画し、住民間の交流を強化するとともに、新規住民の流入を促す。
- ・ 若い世代を祭りの中心の役割として配置。
- ・ 祭りの子供向けの演目を増やし親世代の関心を向上。
- ・ 親子で参加できるイベントの開催。
- ・ 子供会のやり方が、若いお母さん中心でイベントも新しくなって活性化した。
- ・ 自治会主催のバス旅行を子どもの自由研究に活かせる場所に設定し、夏休み中に行う。
- ・ 文化祭の作品を幅広く募集。
- ・ 新年会の開催。
- ・ 夕涼会の新規開催。

- ・100歳体操の新規開催または継続実施。
- ・落語を楽しむ会の実施。
- ・いきいきサロンの積極推進。
- ・サークル活動（資金援助）の活発化。
- ・バザーを新たに開催し、住民の参加機会を増やす。
- ・自治会館を活用し、新たな転入者との交流イベント（歓迎会）を開催。
- ・年1回の「ふれあい祭り」を実施し、世代を超えた交流を促進。
- ・高齢者向け交流イベント「お茶会」を開催。
- ・自治会を持たない近隣マンションとの合同イベントの開催を定期的に行い、若い方達の発想力を取り入れ自治会活動に生かしている。

### ○防災活動の強化

- ・自治会は「高齢者の集まり」のイメージを変えるべく、全世代に関わる”防災”に着目。
- ・防犯パトロールを継続的に実施。
- ・防災活動の活発化（地震・災害への備え）。
- ・「公助・共助・自助・近所」の講習会を実施。
- ・会報で防災関連情報を強化。
- ・流山市の出前講座を実施。
- ・自治会の支援拠点設営訓練・安否確認訓練の定期実施。
- ・他自治会合同の防災訓練を実施。

### ○自治会活動の見える化

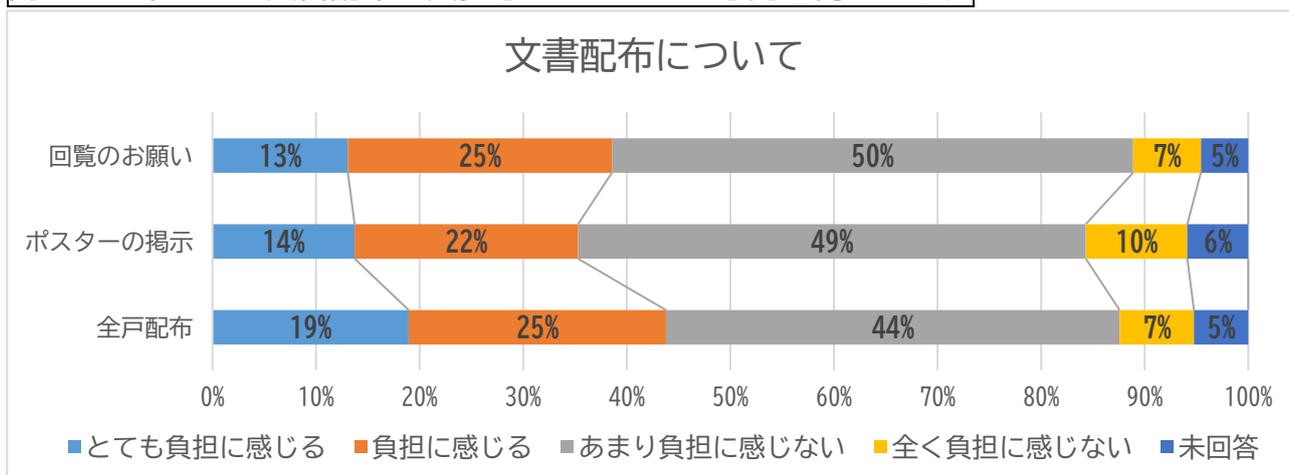
- ・自治会活動の全貌を把握できる資料（役職とスケジュール、担当業務など）を作成し、役員に配布（引き継ぎ資料としても活用予定）。
- ・若年層に自治会の意義を理解してもらうため、資料を作成し総会時に配布。
- ・会長の活動内容及び各部（部長）の活動内容をわかりやすく説明し、実際に見ることができるようPRしている。
- ・自治会報を作成し、問題点等を住民の方に投げかけている。

### ○自治会改革の推進

- ・自治会業務のスリム化を進め、負担軽減を図る。
- ・若年層への声かけを強化し、自治会への関心を高める。
- ・イベントなど負担になっている業務は一部外注化し、役員の負担を軽減。
- ・働きながら自治会活動できるように見直し。
- ・イベントの中で自治会アンケートを行い、会員のニーズ把握や関心の向上に努める。

### 3 市からの文書配布

問10 市からの文書配布の負担感について、ご意見を伺います。



(具体的に困っていること)

#### ○回覧に関する問題点

- ・回覧物の種類が多く、読み切れない。適正な時期に少量ずつ回覧してほしい。
- ・イベント直前のものがあり、間に合わないことがある。
- ・共働き世帯が増加しており、回覧板を回すのがお互いに負担。
- ・高齢化に伴い、回覧板の回覧辞退者が増えている。
- ・月に何回も回覧があるとクレームが来る。
- ・警察、社会福祉協議会、学校等、各種団体からバラバラに回覧依頼が来ること。
- ・回覧物の回覧ができず、掲示して対応している。

#### ○ポスター掲示に関する問題点

- ・ポスターの数が多く、掲示板に貼り切れない。
- ・自治会の掲示物もあるため、大きすぎると貼れない。A3以下に統一してほしい。
- ・雨や風で破損しやすいため、パウチ加工など防水加工をしてほしい。
- ・掲示板の場所までポスターを貼りに行くのが負担。
- ・掲示板がないため、ポスターを回覧するしかなく、手間がかかる。

#### ○全戸配布に関する問題点

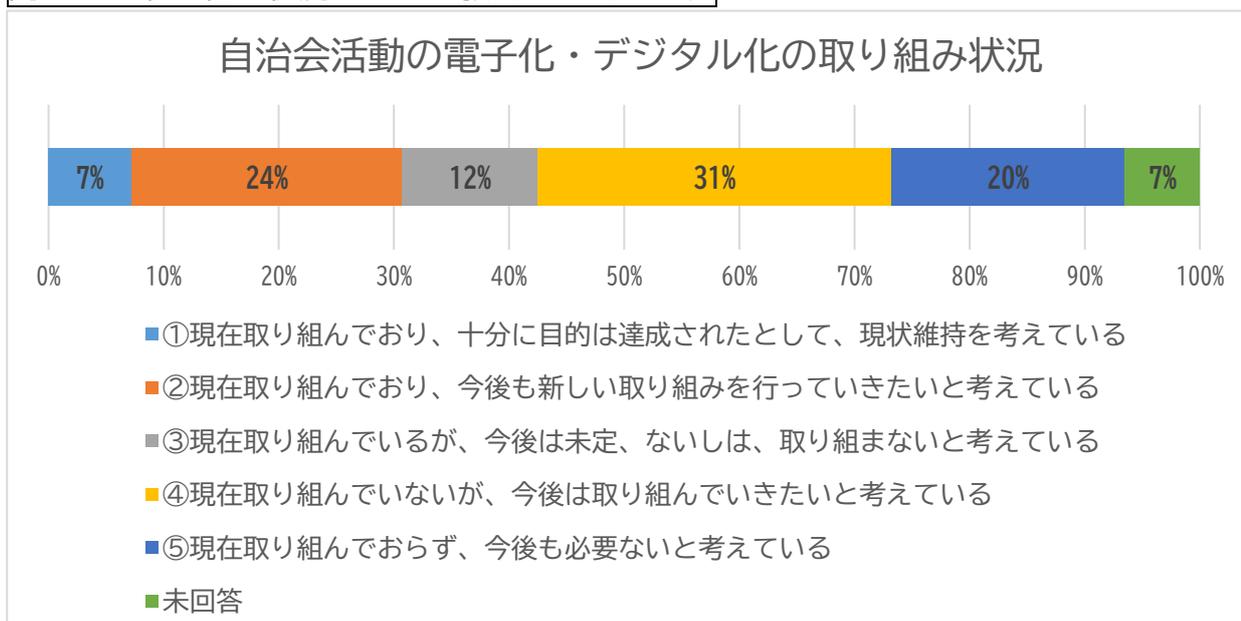
- ・担当者の仕分けが大変。
- ・全戸配布の対応が困難であるため、回覧板に挟んで各世帯が抜き取る方式を検討。
- ・全戸配布ではなく、回覧が良いと思う。
- ・ごみカレンダーの配布依頼は、大型・重量があり各戸配布に困難を生じている。

#### ○その他の問題点

- ・自治会員にとって興味のないものが多い。見ている人がいないと感じる。
- ・未加入世帯への情報共有が難しく、自治会を頼らない対応が求められる。
- ・市のホームページがあるので、やめたほうがいいと思う。
- ・紙の回覧の仕組みは問題なくできているが、見られているか疑問があるため、デジタル化したい。

## 4 自治会活動の電子化・デジタル化

### 問11 取り組み状況について教えてください。



#### 「①現在取り組んでおり、十分に目的は達成されたとして、現状維持を考えている」

##### と回答された方の主な理由

- ・会計処理決算化、会員名簿と年会費徴収の連携、議事録
- ・役員の連絡をメール化している。メールがない方は FAX 等で対応。役員決定時（引継ぎ時）に電子化の説明をしっかり行っている。
- ・地域住民の世代は30代、40代が多いため
- ・世帯が少ない自治会のため
- ・ほとんどの人がパソコンを使う昨今、紙での保管は場所をとる。いつでも何年か前の資料もみられる強みがある。私はパソコンができないが、役員のほとんどができる。
- ・役員間の連絡項目等、速く伝えるために各役員の携帯を活用しグループラインを開設している。
- ・自治会としてのメールアドレス、ホームページ、LINE を所有しているため。

#### 「②現在取り組んでおり、今後も新しい取り組みを行っていきたいと考えている」

##### と回答された方の主な理由

- ・役員間の連絡には LINE やメールを活用しているが、一部の人はスマートフォンを持っておらず、使いこなせず情報共有が不十分と感じる。
- ・LINE 不参加者への連絡が負担になっている。
- ・自治会と市とのやりとりは自治会所有のパソコンを使用している。
- ・総会資料や議事録は PC で作成しているが、全世帯への配布は紙で行っている。
- ・住民の中には PC やスマホを持っていない人がいるため、紙での配布が必要。
- ・全世帯がメールアドレスを持てば、資料をメールで送付できるようになる。
- ・回覧配布など役員業務の負担を軽減したい。
- ・自治会の交流を増やす策が必要。
- ・IT化により、どこでも・いつでも情報を見られる環境を目指している。

- ・情報共有基盤（サイボウズ等）を検討中で、将来的には回覧板をデジタル化したい。
- ・書類の整理整頓と事業の継承が課題。
- ・会費の回収方法など、まだ改善の余地がある。
- ・資料配布システムが確立されているため、負担感は少ないが、役員の努力による部分が大きい。
- ・地域アプリ「いちのいち」を導入したが、デジタルに詳しい人がいないため、今後の推進が課題。
- ・一部の班では回覧板のデジタル化ができていますが、全体に広げていきたい。
- ・自治会のホームページがあるが、古くなっており、新しいものを作成中。
- ・自治会のデジタル化の検討を始めたばかりで、まだ成果が出ていない。
- ・若い役員が増え、紙ベースに頼りたくない傾向があるが、自治会全体では紙の方が無難とされている。
- ・紙ベースの資料は保管スペースや劣化の問題がある。
- ・データでの保管は管理方法に注意が必要だが、スペースや劣化の問題を解消し、書類作成が容易になる。
- ・PCの普及不足と会員の高齢化が課題。
- ・PCが苦手な世代が役員になった場合、他の役員への負担が増える。
- ・他に優先すべき取り組みがあり、デジタル化の優先順位が低くなっている。
- ・デジタルに詳しい会員や若いイベント実行委員の協力で、少しずつデジタル化が進んでいる。
- ・スマホ教室を開催し、会員のデジタルスキル向上を図っている。
- ・各種ポスターや会報などのデジタル化が必要。
- ・会議などのオンライン化をもっと進めたい。
- ・ホームページの更新が遅く、情報をスピーディに配信したい。

### 「③現在取り組んでいるが、今後は未定、ないしは、取り組まないと考えている」

#### と回答された方の主な理由

- ・現在、手持ちのPCで細々と取り組んでいるが、組織としては未定で困難。
- ・高齢化により、高度なデジタル化は不要と考えている。
- ・高齢者が多く、端末を持っていない人が多いため、デジタル化は実現不可能だと思う。
- ・現在、書類や電話対応から二次元コード・メール・LINEなどを併用しているが、なかなか浸透しない。役員が変わるとどうなるかわからない。
- ・現在、自治会の資料（名簿や議事録など）はExcelやWordで作成し、GoogleのGドライブに保管している。
- ・議事録や回覧資料を電子ファイルで回覧したいが、高齢者などが電子ファイルを閲覧できないため、現時点では保管のみ。
- ・高度なデジタル技術は自治会の管理運営には不向きと感じている。
- ・現在、パソコンを使える人が限られている。
- ・スマホやパソコンを使えない高齢者がいる。
- ・役員でPC操作ができない人が多い（PCとプリンターを購入したが、ほとんど活用されていない）。
- ・自治会の役員は年齢層が幅広いいため、パソコン（デジタル化）を使えない人や苦手な人

が多く、役員メンバーによって取り組みが進まない。

- ・自治会は全世代が対象であり、デジタル手段だけではカバーできず、結局アナログ手段と併用する必要があり、事務局の手間が増える。

#### 「④現在取り組んでいないが、今後は取り組んでいきたいと考えている」

##### と回答された方の主な理由

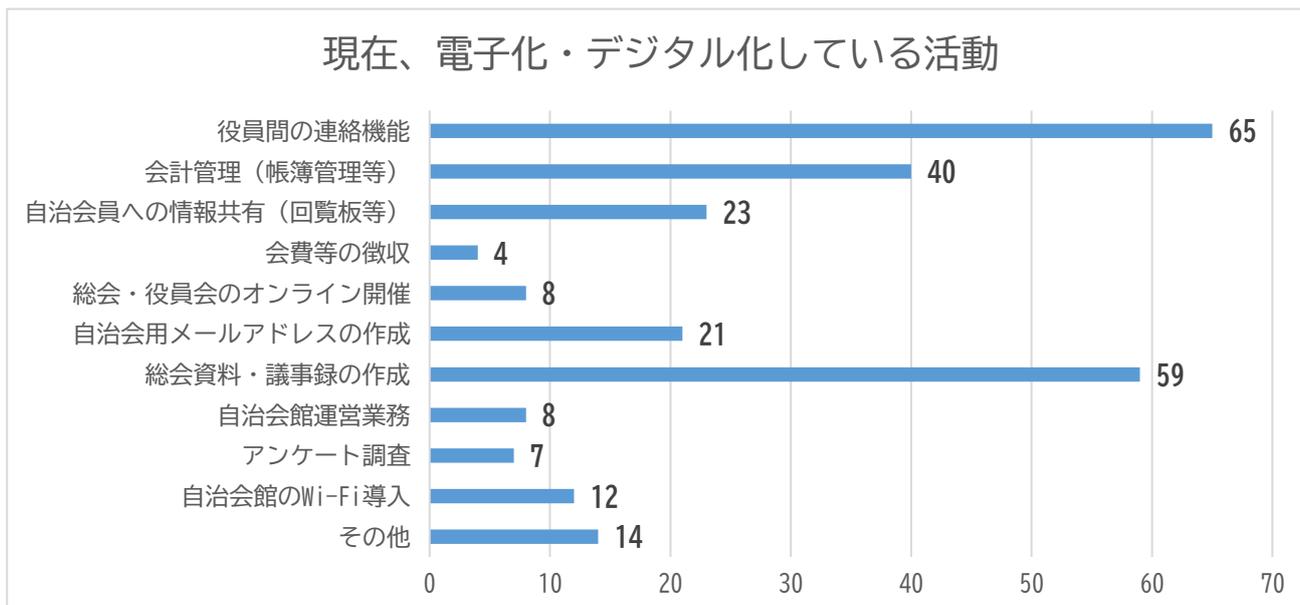
- ・世帯ごとのデジタル化状況が異なり、高齢者世帯がいる限り完全な電子化は難しい。
- ・自治会の活動だけでなく、説明会を Web 開催や動画配信などデジタル化すべき。
- ・デジタル化しないと役員の負担が大きくなる。
- ・高齢化が進んでおり、デジタル化への対応が困難だが、若い世代が役員になると進められる可能性がある。
- ・現状、デジタル化は一部の役員間で行われており、高齢者に対応を求めるのは難しい。
- ・将来的に全会員が対応可能になれば、自治会全体のデジタル化に取り組みたい。
- ・紙ベースの引き継ぎは面倒であり、デジタル化することで後年にわたってデータの引き継ぎが簡単になる。
- ・紙媒体での不満はないが、時代に合わせてデジタル化を進めたい。
- ・デジタル化により自治会活動が効率化されると考えている。
- ・高齢者が多く、デジタル化に抵抗があるが、必要性は理解している。
- ・電子化の導入は、事務作業の簡略化や負担軽減につながる。
- ・自治会活動のためにホームページを立ち上げたいが、人材不足。
- ・回覧板や資料の配布を減らし、インターネット上で情報提供をしたい。
- ・自治会活動のデジタル化を進める必要があるが、現状はまだ取り組んでいない。
- ・連絡体制のデジタル化（電話から LINE などへの移行）が望ましい。
- ・デジタル化により会員に早く情報を伝達でき、集会を減らし、資料の配布が不要になる。
- ・電子化やデジタル化に協力を得るのは難しいが、できるところから進めていきたい。

#### 「⑤現在取り組んでおらず、今後も必要ないと考えている」と回答された方の主な理由

- ・高齢者が多く、電子化・デジタル化への対応が難しい。
- ・自治会メンバーの高齢化により、活動が難しくなっている。
- ・高齢者に合わせた対応が必要であり、全員がついていけない。
- ・年配の世帯が増えており、自治会活動が難しい。
- ・役員が毎年交代し、高齢者が多いため負担が大きい。
- ・会員への伝達はデジタル化には対応できない可能性がある。
- ・予算が足りない、または取り組みが難しい。
- ・自治会の人数が少数で、必要な対応ができない。
- ・ネット環境が整っていない。
- ・若い世代が役員に就いた際にデジタル対応を検討すべき。
- ・自治会内にデジタル対応に詳しい人がいない。
- ・自治会の活動は自由であり、強制ではない。
- ・紙媒体での対応が必要になることがある。
- ・利用者が限定される可能性がある。

問12 現在、電子化・デジタル化している活動を教えてください。(複数選択可)

※問11で①・②・③を選択した方のみ対象

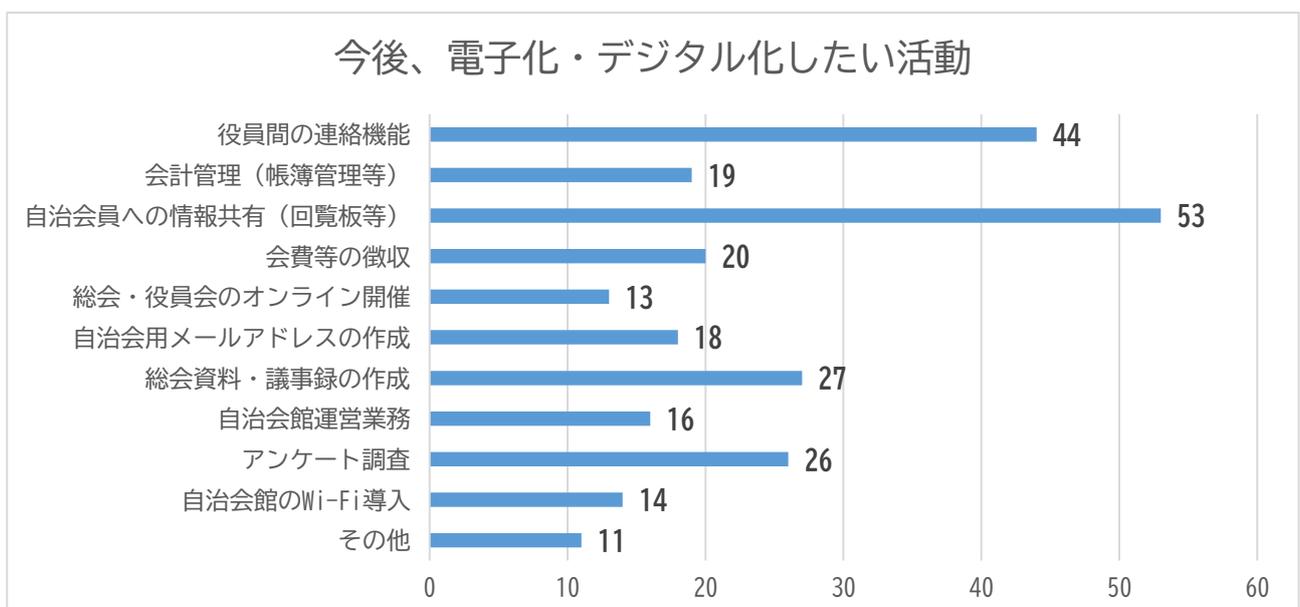


(その他の主な回答)

- ・会員からの問い合わせ、自治会イベントの申込。
- ・ホームページ、まちごみメール。
- ・役員間の文書共有。
- ・メールアドレスではなく Line を作成。
- ・役員間の LINE による連絡は会長、副会長間のみ。

問13 今後、電子化・デジタル化したい活動は何ですか。(複数選択可)

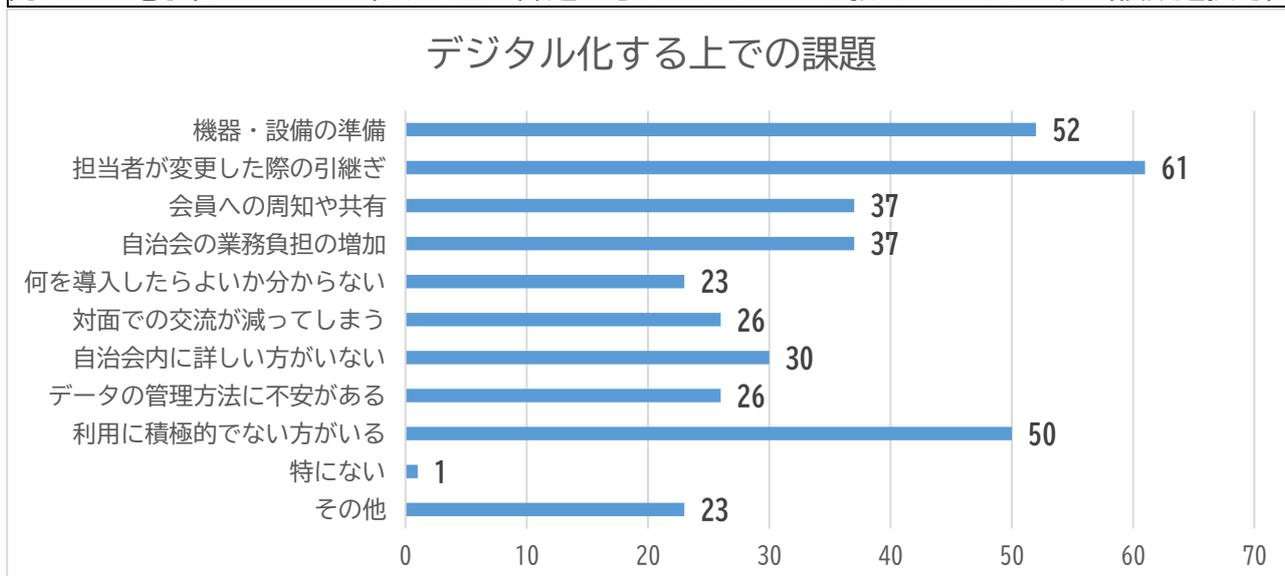
※問11で②・③・④を選択した方のみ対象



(その他の主な回答)

- ・役員引継ぎにおける資料の保管。
- ・会員との意見交換。
- ・ごみ集積所マップの作成。
- ・ホームページの作成。

問14 電子化・デジタル化する上で課題と感じていることを教えてください。（複数選択可）



（その他の主な回答）

- ・高齢者に理解してもらえない。
- ・電子化の事がよくわからない。
- ・会員全員に登録・利用してもらうことが難しい。
- ・費用負担や引き継ぎの際の支障が懸念される。
- ・スマートフォンやパソコンの所有率が不明。
- ・自治会にはPCやスマートフォンを持っていない世代もいるため、広報や連絡のデジタル化が難しい。

5 自治会掲示板の確認について

問15 自治会で設置・管理している掲示板の基数を教えてください。

最小	0 基
最大	18 基
平均	3.25 基